



©武藤 章

【左手】2つの左手のための小品 作品9より「1.前奏曲」/スクリャーピン

【両手】前奏曲 作品33-2、作品37-1/スクリャーピン

A. Scriabin: 2 Pieces pour le main gauche Op.9 1.Prelude

A. Scriabin: Preludes Op.33-2, Op.37-1

西澤健一

【1台4手】牧神の午後への前奏曲/ドビュッシー

C. Debussy (arr. by M. Ravel): Prélude à l'après-midi d'un faune (1 piano, 4 hands)

アルテアニミ ピアノデュオ(棟久木綿佳 & Samuel Fried)

【2台4手】交響詩「前奏曲」S.97/リスト

F. Liszt (arr. by composer): Les préludes, S.97 (2 pianos, 4 hands)

ピアノデュオ ドゥオール(藤井隆史 & 白水芳枝)

【2台8手】楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー WWV 96」より「前奏曲」/ワーグナー

R. Wagner (arr. by Deprosse): "Prelude" from "Die Meistersinger von Nürnberg, WWV 96" (2 pianos, 8 hands)

ピアノデュオ ドゥオール/Piano Duo Yu & Ai (山崎裕 & 濱本愛)

協演、競演、饗宴、狂宴…ピアノ音楽の七堂伽藍！

夏の前奏曲

～左手から2台8手まで

主催：特定非営利活動法人 連弾ネット 共催：仙台ピアノデュオの会

後援：国際ピアノデュオ協会

総合監修：松永晴紀 舞台監督：西澤健一

【2台8手】ソナタ/スメタナ

B. Smetana: Sonate (2 pianos, 8 hands)

富永睦子、堀津久愛、小林郁、岩間有美恵(仙台ピアノデュオの会)

【2台8手】ロンド/スメタナ

B. Smetana: Rondo (2 pianos, 8 hands)

【2台8手】常動曲(無窮動) 作品257/J. シュトラウス II(豊岡正幸編)

J. Strauss II (arr. by M. Toyooka): "Perpetuum mobile" Op.257 (2 pianos, 8 hands)

斉藤デュオ(斉藤昭彦 & 美紀) / Duo T&M(豊岡智子 & 正幸)

【2台8手】夏の前奏曲/西澤健一

K. Nishizawa: Le prélude d'été (2 pianos, 8 hands)

米津真浩、金子淳、安嶋健太郎、西澤健一

2016年 7月10日(日) 14:00開演 (13:30開場)

東京オペラシティ リサイタルホール

一般 ¥4,000 学生(大学生以下) ¥3,000 全席自由

【チケット申し込み・お問い合わせ】

東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999

NPO 法人連弾ネット 050-5824-8083 ヤマテピアノ 03-3411-0745



© 豊岡正幸

2014年5月4日「ピアノ・デュオの祭典～東日本大震災復興への祈りを込めて」演奏風景より

協演、競演、饗宴、狂宴…ピアノ音楽の七堂伽藍!

アルテアニミ ピアノデュオ (棟久木綿佳 & サムエル・フリード)

Arte Animi-pianoduo (Yusuka Munehisa & Samuel Fried)

それぞれパリとベルンで研鑽を積んだ後、スイスのローザンヌ高等音楽院にて修士課程を修了。「彼らの存在はこれからの音楽界にとって大変喜ばしく、大きな発見である」「心を伝えることの出来る音楽家」などの評価を受け、数々のコンクールで一位の受賞を機に活発な演奏活動を始める。壁のない世界観を大いに楽しめる、新鮮で個性的なプログラムが好評を博す。2012年より「スタインウェイアンサンブル」。2013年ニューヨークカーネギーホールでのデビューコンサートを含むアメリカツアーに招待・絶賛される。ブーランク「2台ピアノのためのコンチェルト」を南ドイツ交響楽団と共演。2015年東京サントリーホールを含む日本ツアーが記憶に新しい。
www.arteanimi.com



ピアノデュオ ドウオール (藤井隆史 & 白水芳枝)

Pianoduo Duo' or (Takashi Fujii & Yoshie Shiramizu)

04年にドイツにて結成後、国内外にて500ものステージを踏み、音楽の友誼「コンサート・ベストテン」、リリースした4枚のCDがレコード芸術誌特選盤選出など、高い評価と注目を集めている。藤井隆史:東京藝術大学大学院修了。現在、武蔵野音楽大学講師。白水芳枝:東京藝術大学卒業。現在、国立音楽大学講師。文化庁、DAADの奨学金を得て共に独・マンハイム音楽大学大学院に学び、ソリスト科及びピアノデュオ科最優秀修了。14年結成10周年コンサートシリーズ、15年2台のピアノのための「ゴルトベルク変奏曲」公演を大好評のうちに終え、今年8月末には影の国さいたま芸術劇場共催ピアノデュオセミナーが予定されている。www.yoshie-takashi.com



©武藤 卓

Piano Duo Yu & Ai (濱本愛 & 山崎裕)

Piano Duo Yu & Ai (Ai Hamanoto & Yu Yamazaki)

2003年ピアノ・デュオ結成。同年国際ピアノ・デュオ・コンクール大賞児玉賞。04年ピティナ・コンペティションデュオ特設最優秀賞。05年東京にてデュオ・リサイタル開催。06年日本アンサンブルコンクール最優秀賞。05年より後進の育成に力を入れ、数多くの門下生がコンクール等で入賞を果たしている。07年以降、全日本ピアノ指導者協会主催のコンクール、ステップ等に関するセミナー、CD録音、演奏、審査等に積極的に携わる。www.2pianos.jp



斉藤デュオ (斉藤昭彦・斉藤美紀)

SAITO DUO (Akihiro Saito & Miki Saito)

共に武蔵野音楽大学卒業後ウィーンへ留学、留学中にデュオを結成。第17回サレルノ国際ピアノコンクール(イタリア)ピアノデュオ部門第1位受賞。入賞者演奏会出演。帰国後、全国各地でリサイタルやオーケストラとの共演、公開講座などを行う。ブルガリア国際文化フェスティバルに出演。妙高高原・夏の音楽祭では1998年より毎年招聘されコンサートを行っている。テレビや雑誌で音楽活動の様子を紹介され、音楽専門誌等でピアノデュオについて執筆、掲載。現在、埼玉県立大宮光陵高校音楽科ピアノ講師(昭彦)、埼玉県立芸術総合高校音楽科ピアノ講師(美紀)。(株)オクタヴィアレコードより連弾CD「斉藤デュオ・プレゼンス」「フランス・ピアノ連弾曲集」発売。pianoduo.jp



Duo T&M (豊岡智子 & 正幸)

Duo T&M (Tomoko & Masayuki Toyooka)

1980年よりそれぞれ1台4手・2台4手等の舞台を積極的に展開し、ピアノ重奏を中心に据えた演奏活動は楽壇から注目を集め始める。1983年ブルガリア作曲家同盟よりディプロマ授与。1991年に恒常的デュオチーム「Duo T&M」を結成。以後ステージはもとより管弦楽曲編曲・CD製作・楽譜出版等、ピアノ連弾に絞った独自の活動を続け、その魅力を追求する姿勢は音楽愛好家をはじめ広く支持されるとともに、レパートリー開拓をめざすさきかけとして日本の多くのデュオチームに影響を与えた。なかでも2000年から2005年にかけて行われた12回、50曲に及ぶ連弾連続演奏会では、初めて世に紹介されたプログラムも数多く、1台4手のみによる演奏会としては世界的見地から極めて前代人未だとも評される重要な足跡を残している。



松永晴紀 (総合監修)

Harunori Matsuura

東京学芸大学卒業、同大学院修了。故小林孝典氏に師事。同氏の主宰するピアノ・デュオ・グループに所属し、演奏のほかプログラム解説の執筆を担当。ピアノ・デュオを中心とするCD、リサイタルのプログラム解説多数。著書に「ピアノデュオ作品事典」(春秋社刊)。現在、「あんさんぶる」誌(カワイ音楽教育研究会発行)に「さあ、弾こう!ピアノ・デュオ」を連載中。

富永睦子 (仙台ピアノデュオの会)

Mutsuko Tomiyaga

桐朋学園大学卒業。東海大学大学院芸術学研究科修了。仙台、郡山、東京にてソロリサイタル、デュオリサイタルを度々開催。仙台フィルハーモニー管弦楽団、ルーマニア国立トウルグムレシウ交響楽団、ディモ・リパティ交響楽団等と共演。伴奏や室内楽の分野でも多数のコンサートに出演。郡山女子短期大学音楽科及び短期大学附属高等学校音楽科にて講師を務め、現在は仙台音楽学院短期大学こども学科講師。



堀津久愛 (仙台ピアノデュオの会)

Huac Horitsu

宮城学院女子大学学芸学部音楽科卒業、同大学音楽科研究科修了。第33回全東北ピアノコンクール第3位。94年仙台フィルハーモニー管弦楽団と協演。02年よりピアノデュオコンサートに出演。09、10、12年仙台シューマン協会コンサートに出演等、ソロ、声楽やヴァイオリン伴奏の演奏活動を行う。現在、宮城学院女子大学音楽科附属音楽教室、仙台幼児保育専門学校各講師。



小林郁 (仙台ピアノデュオの会)

Iku Kobayashi

千葉市立千葉高等学校卒。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒。国際芸術連盟、全日本演奏家協会新人オーディション合格。仙台での8回のリサイタル他、東京東北各地のコンサートに多数出演。ソロ演奏の他、デュオ、室内楽においても研鑽を積んでいる。1999、2000年、ハンガリー国際ピアノマスターコース参加。宮城県芸術協会、日本ピアノ教育連盟、全日本ピアノ指導者協会各会員。ヤマハハイグレード講座講師。ピアノ教室主催。仙台ピアノデュオの会代表。



岩間有美恵 (仙台ピアノデュオの会)

Yumie Iwama

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。第50回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会奨励賞。第13回日本アンサンブルコンクール2台ピアノアンサンブル部門優秀演奏者賞。ニース夏期国際音楽アカデミー他、多数の海外マスタークラスを受講。一柳和男、須田真美子、鷺見加寿子の各氏に師事。ソロ、ピアノデュオ、伴奏等の演奏活動を行い、仙台市内音楽教室にて後進の指導に当たっている。



米津真浩

Tadahiro Yonezu

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学院を首席で修了。大学、大学院在学中特待奨学生として在学。07年第76回日本音楽コンクールピアノ部門第2位。岩谷賞を受賞。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等と共演。リサイタル以外にも、テレビドラマ「花より男子」の手の吹き替えや、X JAPANディナーショーのピアノを担当する。大学院修了後東京音楽大学非常勤助手を務め、13年14年度ローム・ミュージックファンデーション奨学生としてイモラ国際アカデミーへ留学。www.tadahiro-yonezu.com



金子淳

Jun Kaneko

09年武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻を首席で卒業。11年同大学院を首席で修了しクワイター賞受賞。その後渡欧しイタリアのイモラ国際ピアノアカデミーにて研鑽を積む。15年ディプロマを取得。10年第34回ピティナピアノコンペティション特設部門賞。13年4回チックタディカラリオ国際ピアノコンクール第1位。これまでに皇居桃華楽堂にて行われた御前演奏会、東京芸術センター定期演奏会にて多数のリサイタル、日本ショパン協会パウゼシリーズ、イモラ国際アカデミー25周年記念リサイタルシリーズ等に出演。jusopiano.wix.com/jun-kaneko



安嶋健太郎

Kentaro Ajima

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。及び同大学研究生修了。在学中から多くのコンクールで入賞・入選を果たし、98年にデビューリサイタルを開催。その後は国際音楽祭への出演を含め、多くの国内外の演奏家とも共演し、室内楽や伴奏においても高い評価を得ている。洗足学園音楽大学でピアノ科講師をつとめるほかマスタークラスなども行い、門下生からは多くのコンクール入賞者、音楽大学合格者を輩出している。洗足学園音楽大学、及び大学院講師。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。公益財団法人ピアノ教育連盟会員。楽友協会ちば副理事長。www.ajima88.com



西澤健一 (舞台監督)

Kenichi Nishizawa

国立音楽大学作曲学科中退。第4回東京国際室内楽作曲コンクール第1位ほか賞状多数。05年、第33回セルバンティノー国際芸術祭(メキシコ)において「ピアノ三重奏曲第2番」が柳伊政務のオペラ「夕顔」とともに日本を代表するクラシック作品として紹介される。ミラノ・スカラ座管メンバーによって録音された初の室内楽作品集が15年イタリアでリリース。01年にブリュッセルで開催を機に、自作自演を中心に演奏活動も活発に行うほか、コラム・エッセイの執筆、演劇への出演など、多岐に渡る独自の活動を展開している。www.kenichinishizawa.net

